



真の強さを学ぶ。

新潟大学

NIIGATA UNIVERSITY

電子リソース、雑誌、JUSTICE

新潟大学学術情報部学術情報管理課

雑誌情報係 山城 光生

令和2年度国立大学図書館協会東京地区協会・関東甲信越地区協会合同フレッシュパーソンセミナー

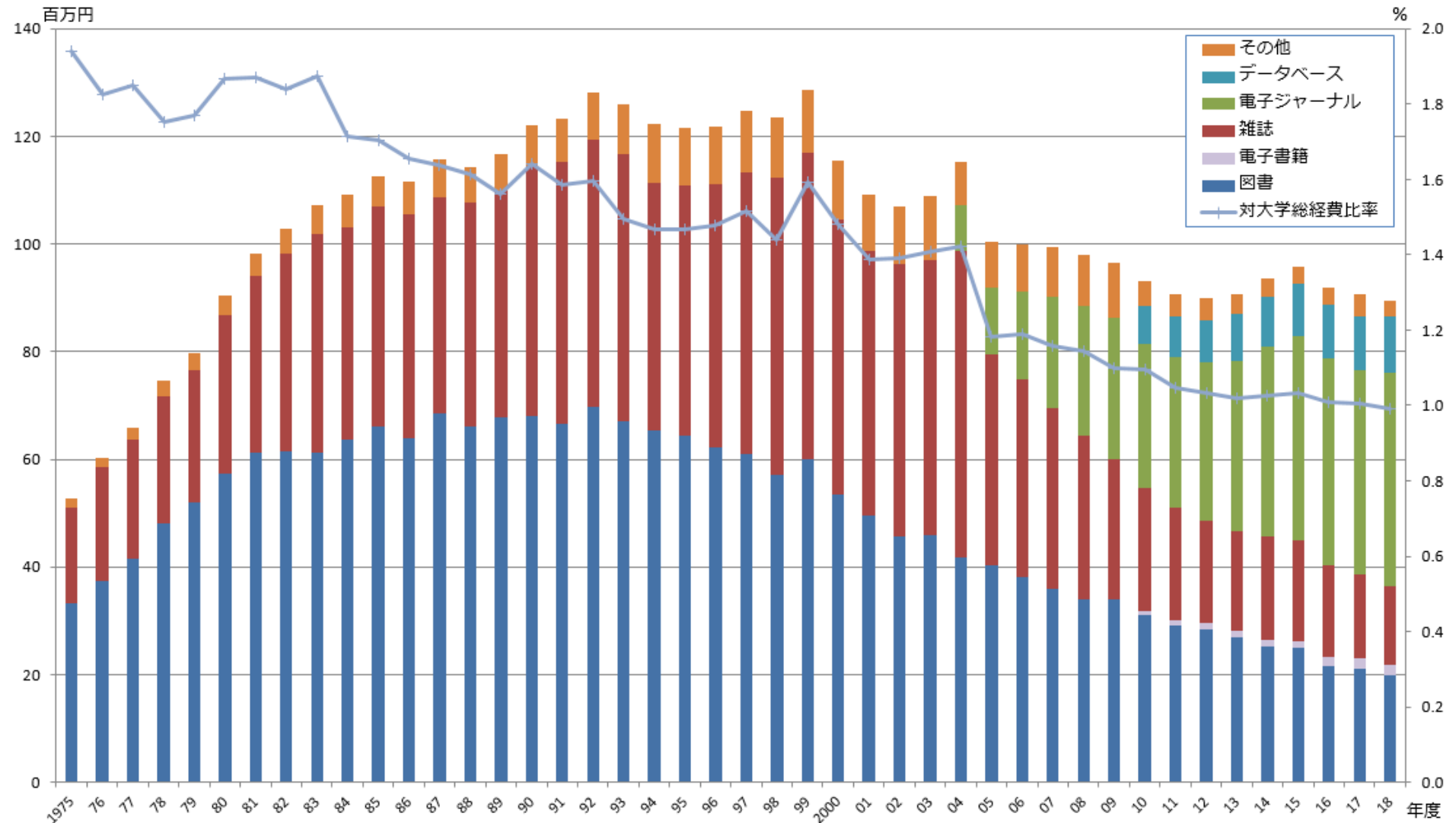
2020年11月12日

雑誌業務について

- 冊子体、電子ジャーナル、データベースの契約／管理／提供
- 年間購読制（翌年の購読について処理）
- 申込期限に間に合うように

電子ジャーナルの普及（予算面から）

図書館資料費の推移：国公立大学 1大学あたり平均額



文部科学省（旧文部省）の「学術情報基盤実態調査結果報告」（旧「大学図書館実態調査結果報告」）による（JUSTICE事務局作成）

電子ジャーナルの普及（利用面から）

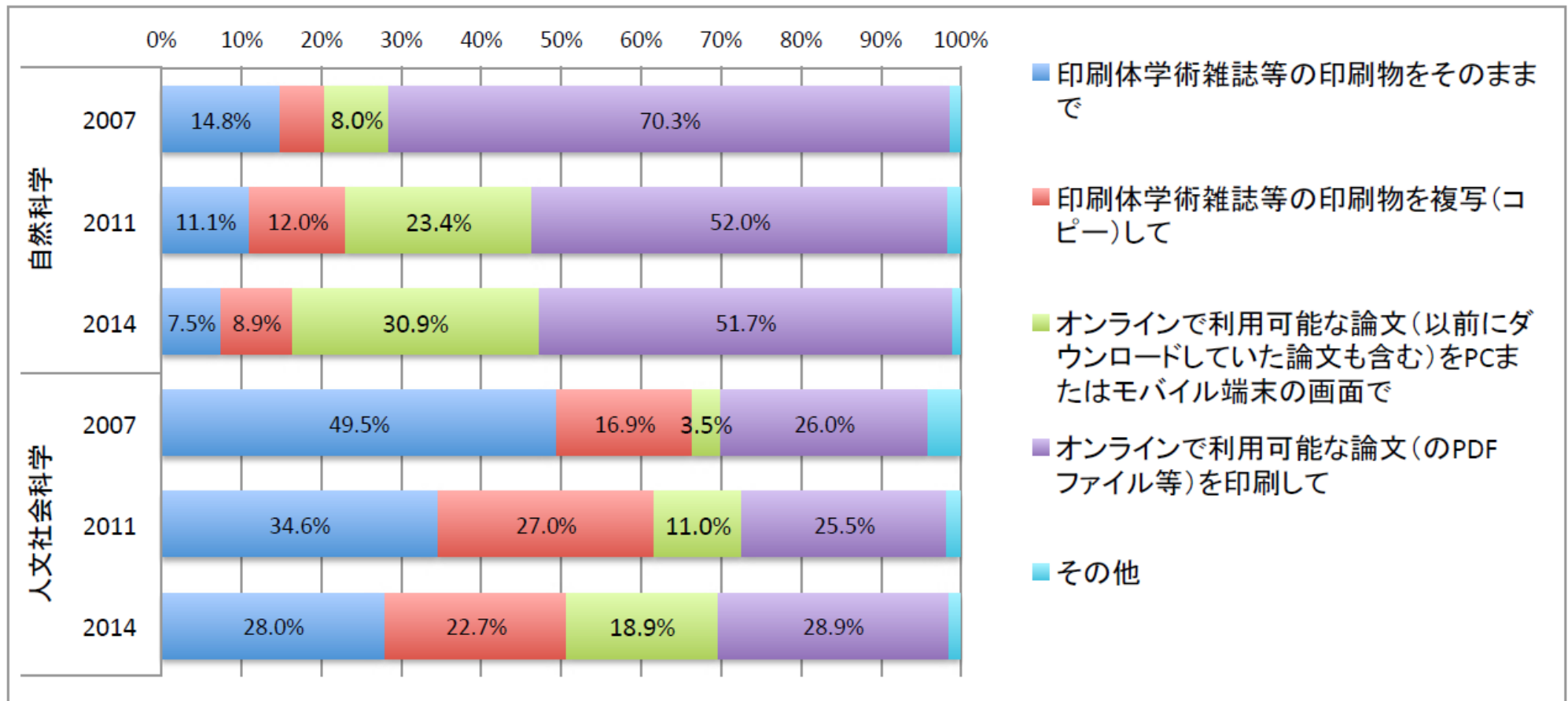


図1: 読んだ論文の形式

「学術情報の利用に関する調査2014」調査結果速報版
<http://www.screal.jp/>

冊子体と電子ジャーナルの比較（利用者側から）

| | 冊子体（紙媒体） | 電子ジャーナル |
|------------------|------------------|--|
| 入手スピード | 輸送時間などがかかる | 基本的にタイムラグがない |
| 利用場所・時間 | 図書館の利用条件による | 図書館の外でも24時間使える |
| 複数人の同時利用 | 不可 | 多くの場合可能 |
| メディア・ネットワーク環境の制限 | なし | あり。ネットワーク環境とパソコンなどのメディアが必要 |
| 利用に必要なノウハウ・スキル | OPACなどの目録を検索する方法 | 検索方法、提供ポータルの使用方法 |
| 将来的な利用の保証 | 手元にモノがあるため安定 | コンテンツは提供側にあるため不安定 |
| その他 | ブラウジングがしやすい | <ul style="list-style-type: none"> ・本文検索や他論文へのリンクアウトが可能 ・動画・音声など表現の多様性 |

冊子体と電子ジャーナルの比較（図書館員側から）

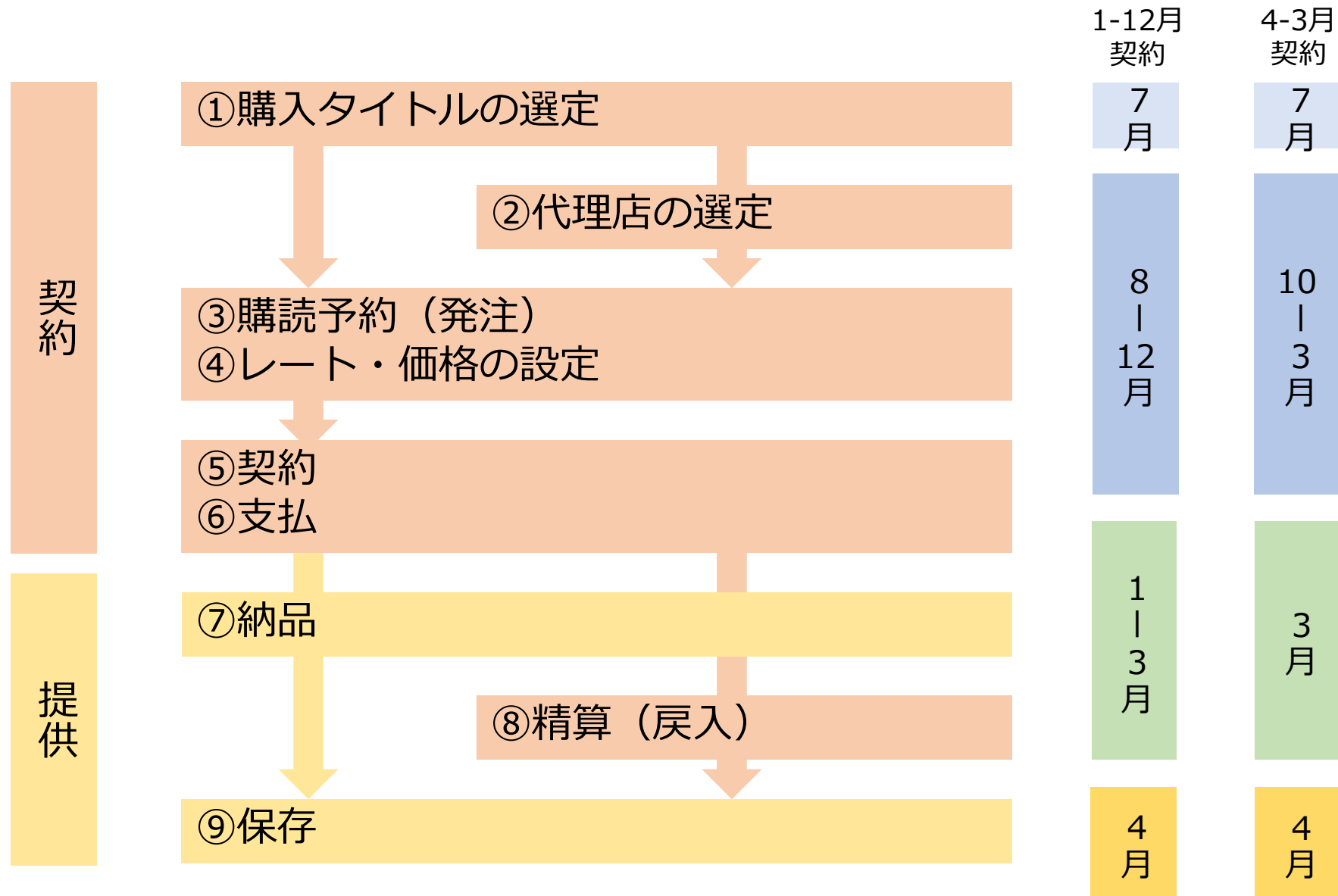
| | 冊子体（紙媒体） | 電子ジャーナル |
|---------|----------------------------|---------------------------------|
| 受入業務 | 1冊ごとの受入業務が発生、欠号の督促が必要 | なし。欠号も生じない。ただし、アクセス障害対応は必要。 |
| 購入単位 | 基本的にタイトル単位の購入 | タイトル単位のほか、パッケージでの購入や論文単位での購入も可能 |
| 購入予算の出所 | 研究室や学科単位など、購入したいところがそれぞれ支出 | パッケージを全学共通経費で購入する大学もある |
| 物理的スペース | 必要→書架の狭隘化の問題 | 不要 |
| 目録業務 | 受入ごとに所蔵を修正 | 毎年変更があるため、利用可能タイトル・範囲の管理が必要 |
| 利用統計 | 取得するのが困難 | 多くの場合、取得できる |

コロナ禍がもたらしたものの

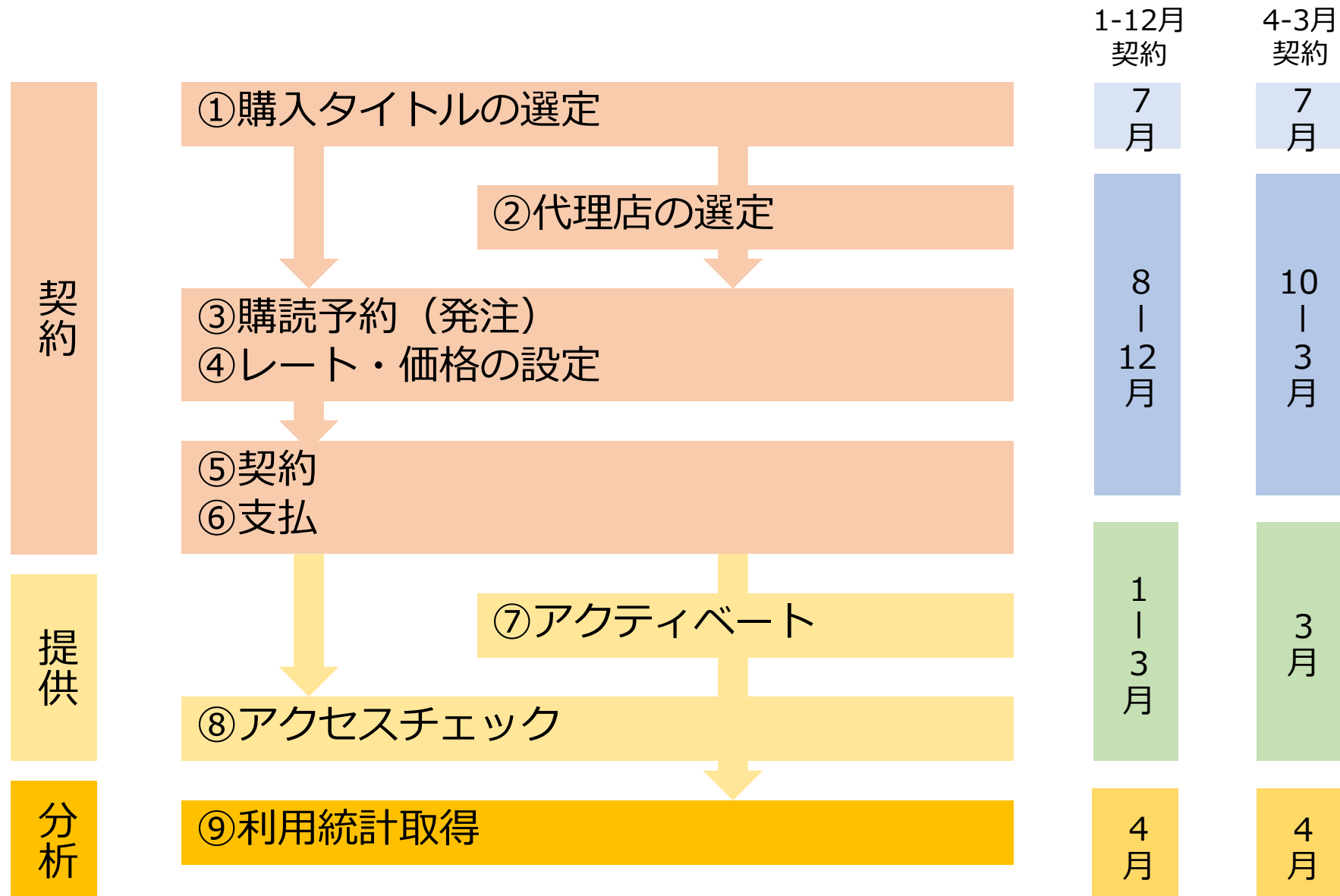
- 冊子体の発行中止、納品遅れ
- 電子ジャーナルの無償提供
- リモートアクセスの提供
- 電子リソースへのアクセス増加
- コンテンツ価格の値上げ延期

→ 電子リソースへのシフトが加速

年間スケジュール（冊子体）



年間スケジュール（電子ジャーナル）



購入タイトルの選定

- 部局経費
 - 「購入希望調査」を実施。継続／中止／新規の確認、契約形態（冊子、電子、冊子＋電子）を確認
 - 図書館経費
 - 委員会で図書館備付雑誌を決定
 - 全学経費
 - 電子ジャーナルの整備方針に基づき決定
- 学内調整が必要

代理店の選定、契約

- 契約金額や代理店などにより契約方法が異なる

- 契約金額
- 総代理店／指定代理店／直接販売
- 見積もり合わせ／一般競争入札
- 契約書／請書／License Agreement

→ 契約事務に関する知識が必要

入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

令和2年8月21日

国立大学法人新潟大学長 牛木 辰男

◎調達機関番号 415 ◎所在地番号 15

○第11号

1 調達内容

- (1) 品目分類番号 71、27
- (2) 購入等件名及び数量 Wiley雑誌の購入及び電子ジャーナルの利用 一式
- (3) 調達案件の仕様等 入札説明書による。
- (4) 履行期間 令和3年1月1日から令和3年12月31日
- (5) 履行場所 新潟大学附属図書館
- (6) 入札方法 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額から消費税法第2条第1項第8号の4に規定される「事業者向け電気通信利用役務の提供」にかかる金額を除いた額の10パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額から当該金額に含まれる消費税及び地方消費税を除いた金額を入札書に記載すること。

2 競争参加資格

- (1) 国立大学法人新潟大学契約事務取扱規程第

納品

- 冊子体
 - チェックイン
 - 未着欠号は督促
- 電子ジャーナル
 - アクティベート
 - アクセスチェック

受付情報登録

新規登録

受付一覧

年度切替 雑誌所蔵表示

10件表示

| 契約年度 | 巻 | 号 | 通号 | 冊 | 冊数 | 巻通 | 併/増 | 支払 | 発行日 | 受付日 | 納入価格 |
|------|----|---|----|---|----|----|-----|----|----------|------------|----------|
| 2020 | 91 | 3 | | | 1 | 01 | | | 20200601 | 2020-07-27 | 26,633 |
| 2020 | 91 | 2 | | | 1 | 01 | | | 20200401 | 2020-05-01 | 26,633 |
| 2020 | 91 | 1 | | | 1 | 01 | | | 20200201 | 2020-02-14 | 26,633 |
| 2019 | 90 | 6 | | | 1 | 01 | | | 20191201 | 2019-11-28 | 25,721 支 |
| 2019 | 90 | 5 | | | 1 | 01 | | | 20191001 | 2019-10-10 | 25,721 支 |
| 2019 | 90 | 4 | | | 1 | 01 | | | 20190801 | 2019-10-31 | 25,721 支 |
| 2019 | 90 | 3 | | | 1 | 01 | | | 20190601 | 2019-06-27 | 25,721 支 |
| 2019 | 90 | 2 | | | 1 | 01 | | | 20190401 | 2019-05-31 | 25,721 支 |

2019 受付

2018

標準結果へ

書誌変遷履歴 雑誌所蔵表示 履歴

先期へ 前

受付巻号 [91][4] ~ [][][][] 合併号 増刊号

冊数 **必須** [1]

単巻区分 税抜

発行日 [20200731]

本体価格 **必須** [26.633]

資料ID []

禁帯出 禁帯出

支払対象 [支払対象] 見込 見込み登録

研究室管理者 [] 検索

配置日 []

購入者 [00272900] 検索 (旧)医学整形外科

予算 [847290000] 検索 医学整形外科(雑)

費目区分 [156655 研究経費] 目的コード [500350 基幹的経費]

巻号注記 []

業務注記 []

特集記事 []

クリア 登録

支払い

- 前払い／仮払い／後払い
- 精算
- 課税方式
 - 国外事業者による電子コンテンツはリバースチャージ方式
(大学が申告・納税)

→ 会計事務に関する知識が必要

提供

- 利用環境の整備
 - タイトルリスト
 - リンクリゾルバ
 - OPAC
 - リモートアクセス
- 保存
 - 製本
- アクセス障害、不正ダウンロードなどの対処

→他係や図書館外の部署との連携が必要

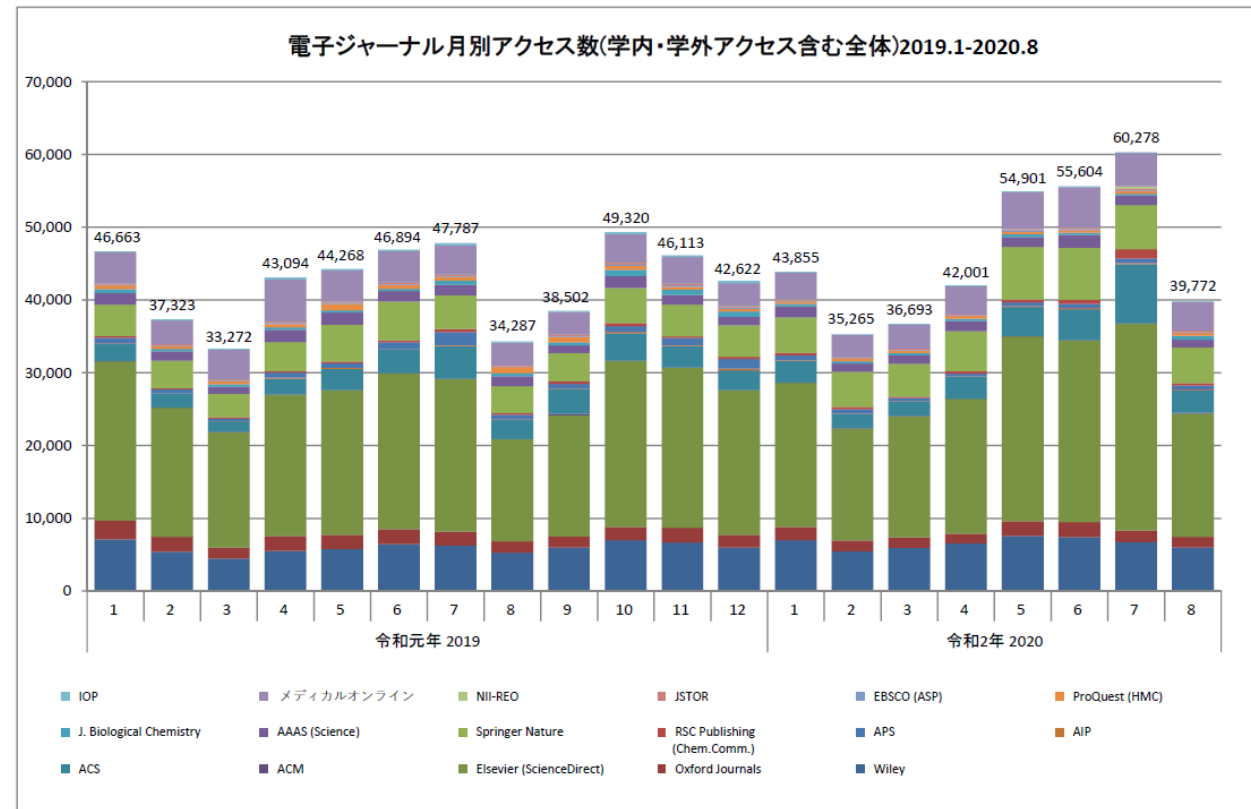
→PCやネットワークの知識が必要



利用統計取得

- 利用者のニーズの把握
 - アクセス数
 - ダウンロード数
 - アクセス拒否数
 - 検索数

数字から利用動向や社会情勢の影響などを分析。次年度以降の契約の参考に。



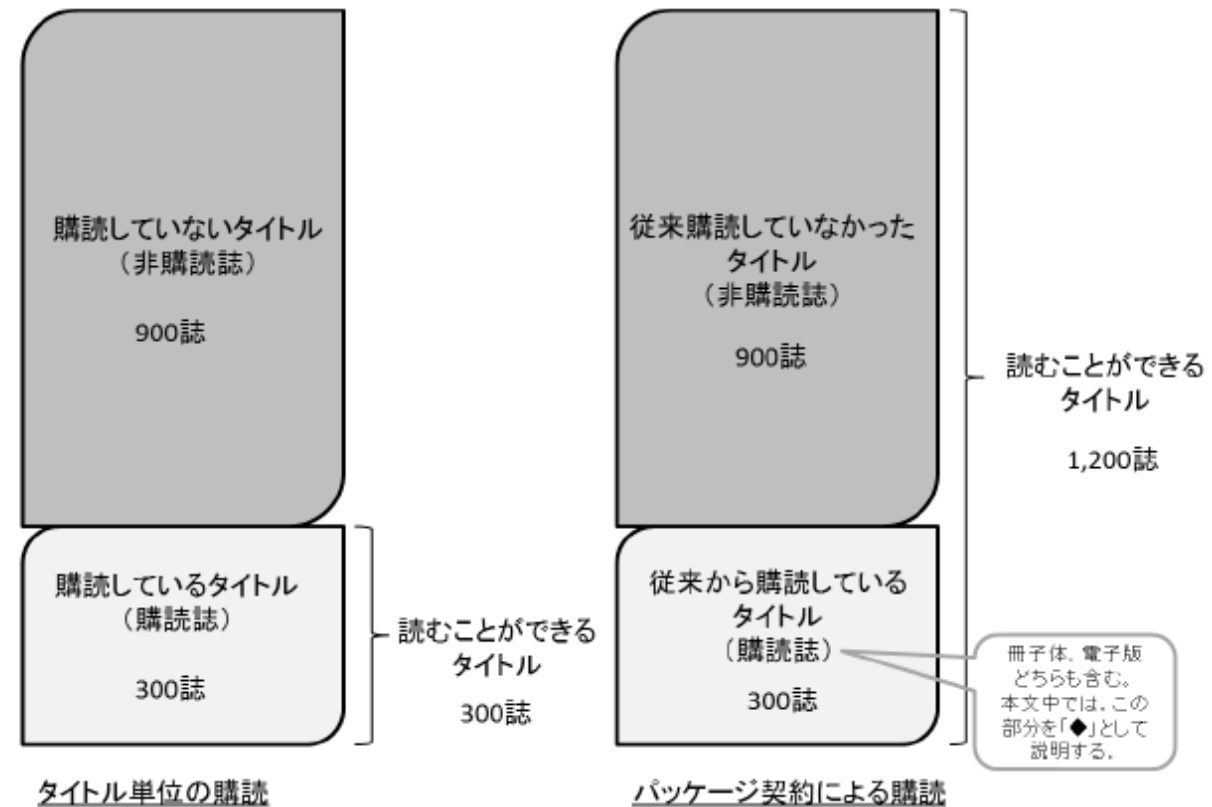
契約時に知っておくべきこと

- 契約期間
 - 単年契約／複数年契約
 - 1 – 12月契約／4 – 3月契約
- 価格設定の根拠
 - 値上がり率（プライスカップなど）
 - 機関規模（FTE、Tier、Band）
 - DDP（冊子の値引き）
 - 契約条件などの要素
 - コンソーシアム提案書

契約時に知っておくべきこと

● 契約モデル

- 個別タイトル契約
- パッケージ契約
- アグリゲータ契約
- バックファイル契約
- Pay Per View



契約金額 = 購読料金 (タイトル毎購読料金の合算)

契約金額 = 購読料金 (タイトル単位購読料金の合算) + 非購読誌へのアクセス料金

ビッグディール契約

従来の購読誌の料金に一定額を加えた金額を支払うことで、非購読誌にもアクセスができるようになる契約方法。パッケージ契約。

図 2-1 : パッケージ契約の模式図

『電子資料契約実務必携』より

契約時に知っておくべきこと

- 契約条件

1. タイトル、アクセスできる範囲

- カレント、Embargo（掲載禁止期間）

2. 接続方式

- サイトライセンス（IP）方式、ID/PW方式
- 同時アクセス数
- リモートアクセス（VPN、学認）

3. 利用者の範囲

4. ILLの可否

5. 利用統計の取得の可否

契約時に知っておくべきこと

- 契約条件

- 6. 契約終了後の扱い

- 契約期間中の巻号のアクセス権が残るもの、全く残らないもの

- 7. 移管誌の扱い

- 他社への移管タイトル分の金額補填が必要か、減額か
 - 他社からの移管タイトルは購読誌扱いとなるのか

- 8. キャンパスの扱い

- シングルサイト、マルチサイト（キャンパス毎の契約） . . .

雑誌の価格上昇

- 市場の特殊性
- 論文数の増加
- 商業出版社の市場寡占
- 利用数の増加
- 新たな機能開発 . . .

→ 上昇し続ける支出額
ビッグディール契約の限界

全国で起こる契約見直し

- 新潟大学の場合

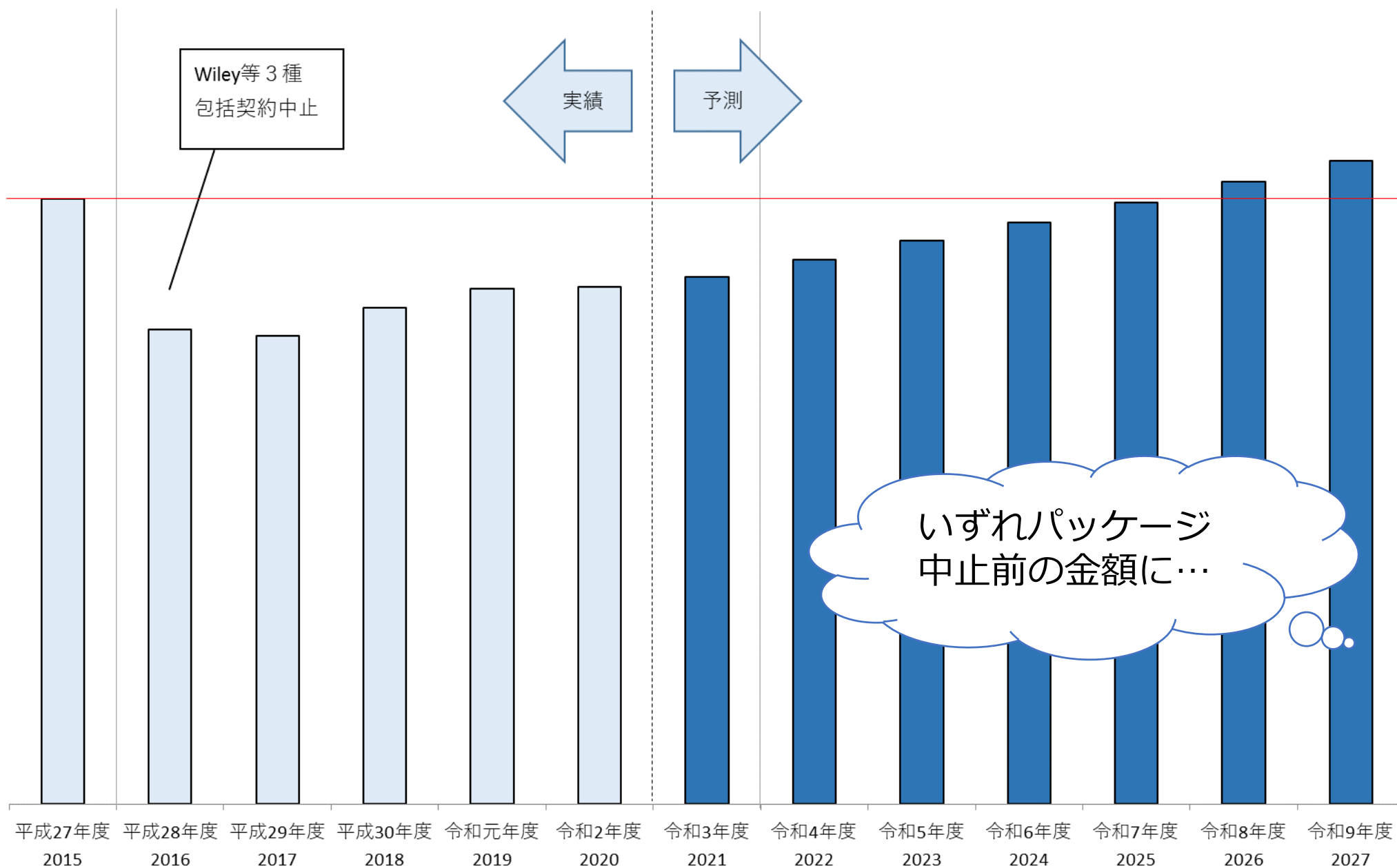
- 2016年からWiley、Springer、Cambridge UPのパッケージ契約を中止
- 個別タイトル契約に移行
- 中止タイトルのILL経費は大学で負担
- 第3期中期目標期間中の電子ジャーナル整備方針の決定（全学経費分）

- 他大学の事例

- 電子資料契約見直し事例集 ※JUSTICE会員館限定ページ

https://www.nii.ac.jp/content/justice/staff/7_information/jirei.html

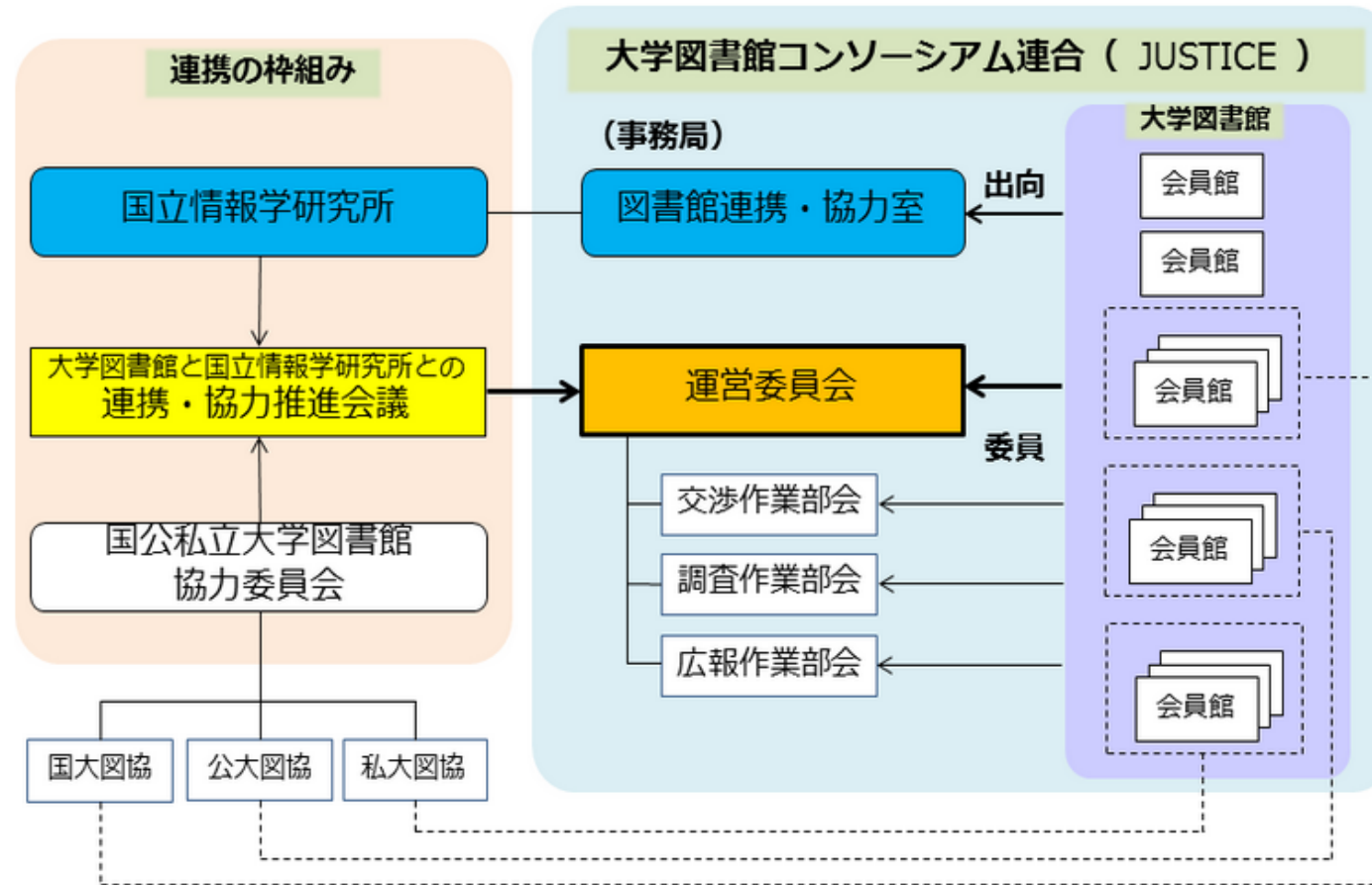
全学経費による電子ジャーナル契約額の推移



大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE)

- 2011年4月設立
- 加盟館 548 (2020.6.1 現在)

電子ジャーナル等の電子リソースに係る契約、管理、提供、保存に係る総合的な活動や、それらの業務に携わる人材の育成等を通して、わが国の学術情報基盤の整備に貢献することを目的とする



JUSTICEホームページより

大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）

- 出版社等との交渉を通じた電子リソースの購入・利用条件の確定
- 電子ジャーナルのバックファイルや電子コレクション等の拡充
- 電子リソースの管理システムの共同利用
- 電子リソースの長期保存とアクセス保証
- 電子リソースに関わる図書館職員の資質向上
- その他、国内外のコンソーシアムとの連携を図るための情報交換

JUSTICEホームページより

オープンアクセスと雑誌業務

- オープンアクセス誌の出現

- 購読料支払（読者） → APC支払（著者）
論文掲載料（APC : Article Processing Charge）

- ハイブリッドジャーナル

- APC支払を選択することで掲載論文をOAに
- Double-Dipping（二重払い）の指摘

→ Read & Publish モデル

購読料とAPC支払（またはAPC割引）をセットにした契約
図書館としてもAPC把握が必要に

ハゲタカジャーナル問題

- APCの搾取を目的として、査読が不十分な論文を掲載する質の低いOA形式の学術誌（いわゆるハゲタカジャーナル）の出現
 - 国内大学でもハゲタカジャーナルへの掲載があることを毎日新聞が報道。新潟大学は大学別で4番目に掲載が多かった。

ハゲタカジャーナルへの対策

- 「新潟大学における粗悪学術誌に対する方針
(2018年11月16日 学長裁定)
- 「論文投稿料・論文掲載料の取り扱いについて」
(2018年11月19日 財務部長通知)

→ チェックリストの活用などで投稿に注意するとともに、支払い手続きの際は雑誌名・出版社名を明記し勘定科目「論文投稿料」を選択させることで、支払データ上でチェックが容易に

大学としてのOA動向の把握

- ハゲタカジャーナル対策ではじまった支払データ入力だったが、学内のOA動向をとらえることができるのではないかという期待。
- URAと図書館とで協力しデータ分析を行っている。
 - URA：投稿先の把握（研究倫理の観点から）
 - 図書館：APCの把握（雑誌契約の観点から）

→ 試みているもののAPCの網羅的な把握は難しい…

OA投稿状況などはWeb of Science等の活用も必要

まとめ

- 雑誌担当になると・・・
 - 図書館以外の知り合いができる（財務、URA、情報…）
 - 会計や契約事務の知識がつく
 - PCやネットワークの知識がつく
 - 図書館や学術情報流通の最新動向を知ることができる
- 大学全体を俯瞰した視点や、図書館を超えた関わりを得ることができる

雑誌担当になったら（なる前に）

- 『電子資料契約実務必携』（2018.10改訂）
大学図書館コンソーシアム連合, 2018
<https://www.nii.ac.jp/content/justice/staff/#anc04> ※
- 『はじめての電子ジャーナル管理』
保坂睦. 日本図書館協会, 2017
- JUSTICE広報誌『jasmine』
<https://www.nii.ac.jp/content/justice/staff/#anc03> ※
- その他、電子ジャーナルやOAに関する文献など

※はJUSTICE会員館限定ページ